



## ＜いのちのつながり＞ —心を開いて他者と向き合う—

・・・わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい（ヨハネ 13-34）

人々の間での分断と格差の拡大が露になった中、コミュニケーションの在り方が変化し多くの人は、いのちと触れ合い、出会い、交わる機会を奪われ、心の潤いを無くしています。パンデミックの下で、社会のシステムの問題もより表面化し、雇い止め、働き止め、貧困女子が増えています。一人ひとりの労働によって社会は支えられている中で、飲食業界、学費をアルバイトに頼っている学生、シングルマザー、非正規滞在外国人等々の中から悲鳴が聞こえてきます。人との交わりが希薄になった人々の、孤独の中で叫ぶ心の叫びに耳を傾け、解決策や皆が共に歩める方向性について考えてみませんか？いのちを繋いでいく為に。



日程	講演タイトル	講師
9月25日	<p style="text-align: center;"><b>橋を架けよう</b> —今求められる共同体性—</p> <p>「分断」が現代社会に深刻な影を落としています。さまざまな状況と向き合う若者からの発言を聞き、人と人とのより調和した関係性を求めて、これからの「共同体性」について分かち合いたいと思います。</p>	<p><b>大木 聡</b> (真生会館館長)</p>
10月16日	<p style="text-align: center;"><b>税で分かち合う痛みと喜び</b> ～ふつうに生きられる社会をめざして～</p> <p>みんなに嫌われる税金。この「嫌われ者」を突破口に、だれもがふつうに生きられる社会の可能性を話したいと思います。</p>	<p><b>井手 英策</b> (慶応義塾大学経済学部教授)</p>
11月6日	<p style="text-align: center;"><b>加害者家族を支援する</b> —支援の網の目からこぼれる人々—</p> <p>事件の加害者家族になる—あまり想像したくはないことかもしれませんが、一度、考えてみて頂きたい。メディア、司法、家族、いろいろな問題が見えてくるはずです。</p>	<p><b>阿部 恭子</b> (NPO 法人 WorldOpenHeart 代表)</p>
12月4日	<p style="text-align: center;"><b>世界に開かれた心</b> —フランシスコ教皇のメッセージ—</p> <p>フランシスコ教皇は、社会教書やさまざまな文書によって、世界の人々に対して真に生きるためのメッセージを伝えようとしています。そのメッセージに込められた願いを読み取ります。</p>	<p><b>阿部 仲麻呂</b> (東京カトリック神学院教授、上智大学講師)</p>

お問合せ お申込 真生会館  
〒160-0016 東京都新宿区信濃町 33 番地 4

Tel 03-3351-7121・Fax 03-3358-9700  
E-mail [gakushu@catholic-shinseikaikan.or.jp](mailto:gakushu@catholic-shinseikaikan.or.jp)  
URL <http://www.catholic-shinseikaikan.or.jp>

申込書 \* 受講料：一回毎 ¥1,000・学生無料（学生証ご提示下さい）

ご希望の日程に✓を入れる 9月25日 10月16日 11月6日 12月4日

お名前 \_\_\_\_\_ 〒ご住所 \_\_\_\_\_

連絡先 (TEL)

E-mail

## ※講師プロフィール※

### 大木 聡（真生会館館長）

山梨大学大学院修士課程で電気工学を専攻し、IT企業で勤務しソフトウェア作成やシステム開発にあった。10年間のSE生活の後、上智大学神学部にて社会人入学して神学を学ぶ。上智大学に在学中は、真生会館「ワカゲ」スタッフとして働いた。上智大学大学院神学部博士前期課程を終了後に、横浜教区事務局で職員として勤務した。2016年に真生会館の館長となる。これまでに様々な教会活動に携わり、カトリック青年連絡協議会事務局長、カトリック社会問題研究所代表幹事などを務める。

### 井手英策（慶應義塾大学経済学部教授）

1972年生まれ。東京大学大学院経済学研究科博士課程修了。日本銀行金融研究所、東北学院大学、横浜国立大学を経て、現在、慶應義塾大学経済学部教授。専門は財政社会学。総務省、全国知事会、全国市長会、日本医師会、連合総研等の各種委員のほか、朝日新聞論壇委員、毎日新聞時論フォーラム委員なども歴任。著書に『幸福の増税論 財政はだれのために』（岩波書店）、『富山は日本のスウェーデン 変革する保守王国の謎を解く』（集英社）、『18歳からの格差論』（東洋経済新報社）ほか多数。2015年度大佛次郎論壇賞、2016年度慶應義塾賞を受賞。

### 阿部 恭子（NPO法人 WorldOpenHeart 代表）

1977年宮城県仙台市生まれ。東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了（法学修士）。2008年大学院在学中、任意団体 WorldOpenHeart を設立し、2011年法人格取得。現在、NPO法人 WorldOpenHeart 理事長。日本で初めて犯罪加害者家族を対象とした支援活動を行う。

研究テーマ：「加害者家族」「マイノリティ」「ジェンダー」「犯罪」

### 阿部仲麻呂（東京カトリック神学院教授・上智大学講師）

1968年生まれ、東京出身。1990年サレジオ会入会。1997年司祭に叙階される。上智大学文学部哲学科卒業。同大学神学部神学科卒業。ローマ教皇庁立グレゴリアン大学大学院神学部基礎神学専攻学科修士課程修了。上智大学大学院神学研究科博士課程後期課程修了。神学博士（上智大学）、日本カトリック神学会理事、日本カトリック教育学会常任理事。著書『信仰の美学』（春風社、2005年）『使徒信条を詠む』（教友社、2021年新版など。訳書『カトリック教会のカテキズム要約（コンペンデュウム）』（カトリック中央協議会、2010年）など。